

平成31年度
特別支援教室
「ふたば教室」 要覧

ふたば教室 教育目標

- 得意なところを伸ばし、不得意な学習もがんばる子
- 自分や相手のよさに気付き、お互いの良さを認め合える子
- 友達とよりよく過ごすための方法を考え、実践できる子
- いろいろな運動に挑戦する子



●入級対象児

- (1) 通常の学級での学習におおむね参加できるが、コミュニケーション・社会性・認知面などに課題があり、個別に支援が必要と思われる児童。
- (2) 情緒不安定、緘黙など、心理的原因によって学校への不適応状態にある児童、および知的発達がアンバランスで通常の学級への適応に支援が必要な児童。

●教室の教育目標

- 得意なところを伸ばし、不得意な学習もがんばる子
- 自分や相手のよさに気付き、お互いの良さを認め合える子
- 友達とよりよく過ごすための方法を考え、実践できる子
- いろいろな運動に挑戦する子

●教室の教育目標を達成するための基本方針

- 児童の実態を的確に把握し、個別指導計画を作成する。
- 児童の実態に応じて、小集団指導、個別指導を行う。指導形態のよさを十分に生かし学習の基礎となる認知や運動能力の向上、対人関係の改善、社会適応能力等の育成を図る。
- 自立活動は、教育活動全体を通して合科統合の指導形態で取り扱う。
- 指導曜日や指導時数については、個々の児童の実態に応じて配慮する。

●ふたば年間予定

| 1 学 期 | 2 学 期 | 3 学 期 |
|------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------|
| 4月 在籍校訪問 保護者会 | 9月 保護者会 保護者学習会 在籍校訪問 授業参観週 | 1月 在籍校訪問 新入級説明会 2月 個人面談 卒業・進級発表会 |
| 6月 授業参観週 | | |
| 7月 個人面談 | 12月 個人面談 | 3月 保護者会 |

●学習内容

子供の個性や実態に応じた学習を特別支援教室で行います。
小集団では『ソーシャルスキル』『コミュニケーション』
『運動』、個別指導では『認知（学習の基礎）』など個に応じた指導を行っています。

【ソーシャルスキル】

- ・自分自身を理解する。
- ・友達とのよりよい関係を築く。
- ・よりよい集団参加の仕方を身に付ける。

【コミュニケーション】

- ・言語の基礎的能力を向上させる。
- ・コミュニケーションの基礎的能力を向上させる。

【運動】

- ・感覚の統合を図り、バランスのとれた発達の基礎的部分をつくる。
- ・目と体の協応運動ができるようにする。
- ・体の動かし方のイメージを持てるようにする。
- ・体をコントロールして動かせるようにする。
- ・手先の巧緻性を高める。

【認知学習】

- ・感覚機能を高め、周囲の情報を的確に受け止められるようにする。
- ・空間認知を高められるようにする。

【個別学習】

- ・個々の実態にあわせた課題を設定し、指導を進める。

巡回体制

今年度も、2つのチームに分かれ指導を行っていきます。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 緑野小 | 佐藤 根本 山口 前田 | 平 駒嶺 須崎 岸 松村 | 佐藤 根本 山口 前田 | 佐藤 根本 山口 前田 | 平 駒嶺 須崎 岸 松村 |
| 五小 | 平 駒嶺 須崎 岸 松村 | 佐藤 根本 山口 前田 | 平 駒嶺 須崎 岸 松村 | 平 駒嶺 須崎 岸 松村 | 佐藤 根本 山口 前田 |

●特別支援教室「ふたば教室」概要

校長 川崎 貴志

担任 平 聖子 佐藤 直幸 前田 由実 駒嶺 菜々子

須崎 亮太 根本 哲也 山口 晃子 岸 一作 松村 幸子

特別支援教室専門員 緑野小：中江 俊夫 五小：金子 謙

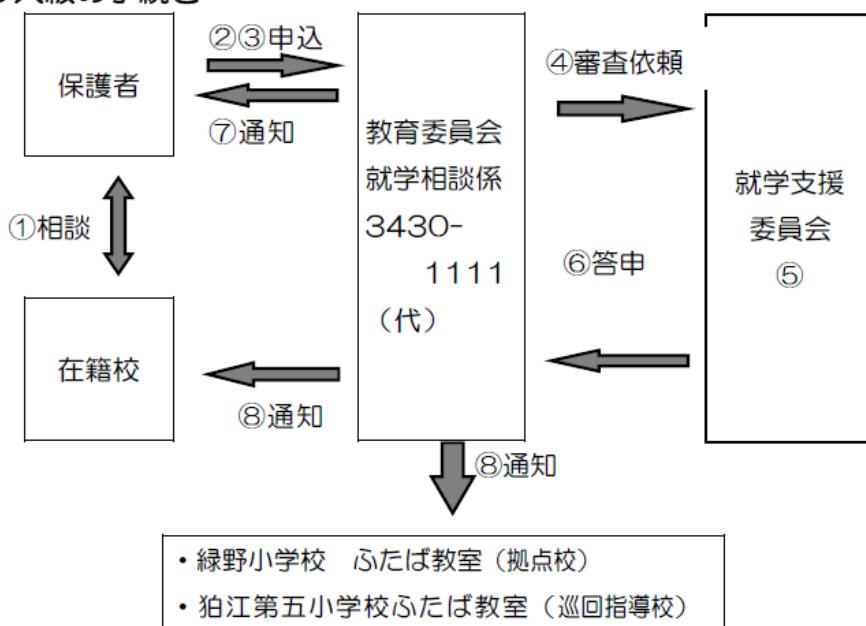
形態 巡回指導

開級 昭和51年4月1日

児童数 (平成31年4月1日現在)

| 学年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 |
|-----|---|----|----|----|----|----|----|
| 男 | 3 | 8 | 19 | 19 | 19 | 13 | 81 |
| 女 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | 11 |
| 児童数 | 4 | 10 | 20 | 22 | 21 | 15 | 92 |

●入級の手続き



- ①保護者が在籍校に相談をします。
 - ②保護者が、教育委員会に就学相談を申し込みます。
 - ③教育委員会にて、保護者が就学相談票に記入します。
その後、就学にあたっての相談を行います。
 - ④教育委員会は、就学支援委員会に就学先の審査を依頼します。
 - ⑤就学支援委員会で就学先を検討します。
 - ⑥就学支援委員会で、総合的に話し合い、就学先を審査します。
その結果を教育委員会に答申します。
 - ⑦教育委員会は、就学支援委員会からの答申を受けて、保護者に連絡します。
保護者との話し合いの結果をもとに、就学先を決定します。
 - ⑧教育委員会は、就学先および在籍の学校に、入級の通知をします。
- * 通常学級在籍中に、特別支援教室に申し込みする時も、ほぼ同じ手続きになります。

●狛江市の特別支援教室体制 (狛江市特別支援リーフレットより)



緑野小学校 ふたば教室【拠点校】



第五小学校 ふたば教室【巡回校】



●交通

緑野小学校



緑野小　ふたば教室《拠点校》

狛江市立緑野小学校

〒201-0003

東京都狛江市和泉本町4-3-1

学校 03(3489)5418

FAX 03(5497)7357

教室 03(3489)0363

狛江第五小学校



五小　ふたば教室《巡回指導校》

狛江市立狛江第五小学校

〒201-0002

東京都狛江市東野川1-35-13

学校 03(3489)4430

FAX 03(5497)7355